

センサーでお知らせ











CTにおける最近のト

により顧客価値を上げようとしたりす リアル・インターネット」があります。こ GEが中心となって進める「インダスト が主導する「インダストリ だけではなく現実の世界へと広がってき たことです。これを象徴するキーワ **惰報のやりとりをすることをいいます。** とくに目立った動きとしては、ドイツ が組み込まれ、モノ同士が連携して | 4.0 | や米国

器が小型化・低価格化・高性能化したと

ロセスの効率化だけでなく、新しいビジ 期待している点にあるといえます。 につながる可能性が高いと多くの人々が ネスの立ち上げやライフスタイルの提案 るのは、IoTによって既存のビジネスプ しかし、それ以上に大きく影響してい

モノがつながると何が起こる?

クにつながるようになると、どのような 変化が起きるのでしょうか。 このようにいろいろなモノがネットワ

ではなく、明日の天気や住人の生活パ ば、蓄電池や太陽光パネルが設置された テムが実現できるようになります。例え 第一には、周囲の環境を考慮したシス ンなど、システムをとりまく環境も

> アコンからシステムに送られることによっ ることが可能になります。 て、何曜日の何時ごろに電気の使用量が いかを推測して関連の機器を制御す

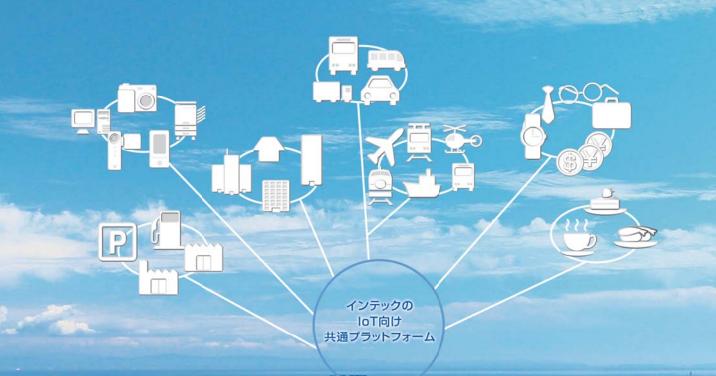
れるかもしれません。 す。また、食の安全安心を保証するため 保険料が決まるサービスも始まっていま 運転した時間や距離、運転態度に応じて どの機能を備えた機器を自動車に載せ、 保険。GPSや加速度センサー、カメラな 可能性が生まれます。例えば、自動車と 携することで新しいビジネスやサ 情報を収集することで、食の安全を保証 なかった異なる分野のシステム同士が連 **^る、より信頼度の高いサ** が、農地の土壌の状態や農薬の利用情 第二に、これまで情報をやりとり 生産品を運ぶトラック内の温度等の サビリティはすでに行われていま

共通プラットフォoT向けの

が、実際にIoTシステムを構築・運用す 次々に生み出される情報、インター るには、各種の機器やセンサ このように期待の高まる ーなどから oTです 新しいビジネスやサービスを生み出す力に

インテックの loT向け共通プラットフォーム

工場の機器や自動車、家電だけでなくメガネやコンタクトレンズに至るまで、 様々なモノがインターネットにつながり情報をやりとりするIoTが注目されています。 ビジネスプロセスの効率化だけでなく、新しいビジネスの立ち上げやライフスタイルの提案につながると期待されています







IoTの真骨頂は これから

株式会社インテック

代表取締役副社長 鈴木 良之

ドイツ発「Industrie4.0」が話題である。時を同じくして米国で は「Industrial Internet」が注目をあびている。ドイツを代表す る企業であるシーメンス、フォルクスワーゲン、SAP、そして米国 の巨人GEなどが名を連ねれば単なる話題作りとも思えない。 いずれも「新時代の産業革命」を謳い「モノづくりの新しい姿」を 実現するという。両者が注目されるのは「バズワード」かもしれない 「IoT」に巨額の投資をし、自国の、あるいは自社の競争力を根本 から変えると宣言しているからである。

考えてみてほしい。いままでにどれだけ多くの「バズワード」が 造り出され、結局は一部の企業の儲け話となって消えていった ことか…。

いわくIoTは「データ」を新たな『資源』として提供するものであ る。あらゆるものがインターネットにつながることによって得られ る、人類が今まで手に入れたことのない膨大な情報は新たな資源で あり、これが新時代の産業革命の起点だという。いわくIoTは インターネットという偉大な発明の上に存在するものであり、 すでに無数ともいえる分野でそれを応用、改良、発展させる社会 的基盤ができあがっている。それらが IoTを実現可能な形とし て普及させていくあり様は産業革命の『過程』そのものだと。

土地から化学への資源革命といわれる産業革命。蒸気機関と いう偉大な発明が紡績業や金属業に応用されていく段階での 分厚い産業基盤の存在が不可欠であったともいわれる。しかし、 「産業革命」という用語がイギリス人の間に定着したのは1880 年代になってからだという。ワットによる蒸気機関の発明から 実に100年間、イギリス人はそれを「製造業における進歩」として 理解しようとしていたわけである。

コンピュータの発明からすでに半世紀以上の年数が経つ。 急速なデジタル化の波は進歩だったのだろうか、それとも革命 なのだろうか?「IoT」の真骨頂はこれからである。

インテックのIoT向け共通プラットフォーム 様々なセンサーやデバイス、 様々な機器から生み出される大量のデータを収集・管理・分析する スマート端末からデータを収集する技術 サービスプラットフォームです。利用者はIoT環境を意識することなく、 アプリケーションを通じて新しい価値の創出に専念することができます。 一夕を目的に応じて加工、統合する 処理技術 エネルギー 多種多様なデータから価値を抽出する 工場 解析技術 自然環境 IoT時代の業界・業種ごとの システム連携技術、ソフトウェア生産、 セキュリティ技術など 住宅 A / IOT向け INTEC 病院 🐔 共通プラットフォーム スーパー 農業 漁業 オフィスビル

通プラッ 様々な分野 めることが可能となり、手軽にI 導入」、「実業務への適用」へと段階的に進 するための実証導入」から「現場への試験 準備することなくI 意識せず 実証実験を始めています 視や橋梁の監視など、お客さまとともに て提供を開始しました。すでに、 インテックは、製造業をはじめエネル ることができます このプラッ や工場の監視システ ·することができます。 ビス、農業、 、機器ごとに異なる開発や 、また特 0) お客さまに ムをご利用いただき、 交通、 別 な仕 また、「効果を検証 oTシステ ムを活 ム、植物工場の ヘルスケア 組みを独 用 んを導っ す 、メガソ 通信を など 自

機械の故障を遠隔で予測

もに新しいビジネスやサ

ービスの創出

目指していきます

遠隔で機械の故障を予測する「故障予測プロジェクト 実証実験」を日新システムズと共同でスタートしました。

様々なセンサーからの情報を収集して機器の状態を 監視、未然に故障を予測し保全するなど、より質の高い 保守サービスの提供を目指しています。



太陽光発電をきめ細かく監視

に共通で

求

8

5

れる機能を

#

・ビス化

向け

共通プラットフォ

機械学習技術をベ

えに、

 $\overset{0}{T}$

システ

を進めてきた分散システムの基盤技術

クは長年にわ

たって研究開

がつながり膨大なデ

タが行き来して

もシステムとして安定していることが

可欠です

必要になり

ます。

数多くの機器

積

、管理、分析

し、活 しかも、

用

組

み が

報を収

など、

膨

大

な情報を

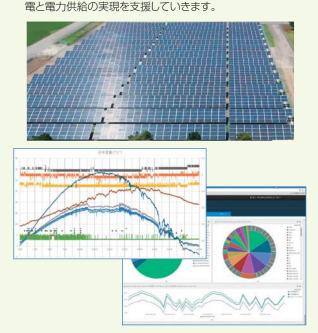
集して

インテックは北陸電気工業と「メガソーラー施設向けスト リング監視システム」の共同開発を行い、メガソーラー施設 で24時間フル稼働の実証実験を進めています。

や

電流値をはじめ毎秒毎分ごとに計測した大量のデータ は、インテックのデータセンターに集約して常時監視してい ます。また、電線の盗難など設備の異常を検出した時は電子 メールで自動通知を行います。

今後、日射状況や天気予報などの関連データ、国の新た な出力制御ルールに対応した制御を加え、最適な太陽光発



INTERLINK 2015.8 INTERLINK 2015.8